

2023年8月27日  
8月第四主日礼拝式



# 75 ただ一つの願い

ただひとつ わたしの願い求めは  
主の家に住まうこと いのちのかぎり

うるわしき主を 仰(あお)ぎ見て  
主の宮(みや)に住み 主を想う  
うるわしき主を 仰(あお)ぎ見て  
主の宮(みや)に住み 主を想う

# 「たたえますとこしえに」

(詩篇92:8)

たたえます

あなたは とこしえに

誉(ほま)れとさんび うけるかた

あがめます

みまえに立ち たえず

心から礼拝(れいはい)します

新聖歌280番 「神はわがやぐら」

- 1 神はわがやぐら わが強き盾(たて)  
苦しめる時の 近き助けぞ  
おのが力 おのが知恵を 頼みとせる  
陰府(よみ)の長(おさ)も など恐るべき
- 2 いかにも強くとも いかでか頼まん  
やがては朽(く)つべき 人の力を  
われと共に 戦いたもう イエスキミこそ  
万軍の主なる 天(あま)つ大神(おおかみ)

【次】

新聖歌280番 「神はわがやぐら」

- 3 悪魔 世(よ)に満ちて よし威(おど)すとも  
神の真理(まこと)こそ わが内にあれ  
陰府(よみ)の長(おさ)よ 吠(ほ)えたけりて  
迫りくとも 主のさばきは 汝(な)が上にあり
- 4 暗きの力の よし防ぐとも  
主のみ言葉こそ 進みに進め  
わが命も わが宝も 取らば取りぬ  
神の国は なおわれにあり

アーメン

# 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌253番 「イエスの御腕(みうで)に」

1 イエスの御腕に その御胸(みむね)に  
静かに憩(いこ)う われは安(やす)し  
天つ使いの 歌の声も 心に近く 聞こゆるなり

\* (下線部くりかえし)

2 イエスの御腕に 抱(いだ)かるれば  
罪の力も 何かはあらん 疑いもなく 恐れもなく  
悲しみすらも深くあらし \* (くりかえし)

3 イエスは常世(とこよ)の 岩にませば  
生ける限りは 頼らまほし 栄え輝く 国にさむる  
常世の朝を 待ちわびつつ \* (くりかえし) アーメン

# 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン